

日刊 動労千葉

85. 11. 23

No. 2097

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七

11月29日 始発時より 24時間 総武線 千葉以西 対象に

(緩行=千葉~三鷹(東) 快速=千葉~東京)

28日より全員 突入体制

当局官憲の介入スト破り行為が行われればスト突入時刻をくりあげ対象線区を拡大する

①② 第三回支部代表者スト戦術を決定

十一月二十一日、動力車会館で、第三回支部代表者会議が開催され、11・29ストライキの戦術について意志統一をはかるとともに、当局・権力のスト破壊を絶対許さない体制の確立をめざし、以下の取り組みを決定した。

中曽根・杉浦・松崎のスト破壊を粉碎せよ

11・17集会の圧倒的成功、スト方針と結合して進められている五千人署名の大前進、各支部主催の地域集会の大成など、スト貫徹へ向けた体制は着々と確立されている。

動労「本部」革マルの裏切り、国労の屈服の下で怒りに燃える全国鉄労働者がわれわれのストライキに注目し、様々な決起を開始している。

これに恐れをなした中曽根・杉浦・動労「本部」革マル松崎は、われわれのストライキを力でおしつぶす攻撃に全力をあげてきている。千鉄当局は、我々のスト方針に対し団交拒否と不当処分を乱発を行ない、局長掲示の貼り出し、スト前段には業務命令の発出・保護願いの強要、家庭訪問などで個別切りくずしを狙っている。動労「本部」革マルも「雇用安定協約」の片仕切りに走ったのはじめ、当局の先兵としてスト破りダイヤへの乗務を画策している。

一方、中曽根も11・29ストに合わせ、成田用水の強行着工攻撃にでるなど、まさに全情勢が11・29ストをめぐる激しく動いている。ストライキの成功が今後の国鉄労働運動・日本の階級闘争の動向を決すると言っても過言ではない。

全組合員が勝利への自信と確信を深め家族も含め一丸となり、あらゆる反動・スト破壊策動をはねのけ断固ストライキへ進撃しよう。

具体的戦術・方針

- 闘いの目標
 - 国鉄分割・民営化阻止
 - 10万人首切り合理化粉碎。
 - 10・9「今後の要員体制のあり方

「撤回」について

- 雇用安定協約完全締結
- 運転保安確立、検修合理化阻止、国鉄を第2の日航にするな。
- 団交否定・形骸化と不当差別・選別の強権的労務政策糾弾、不当処分撤回。

2. 戦術の基本

- 十一月二十九日、始発時より総武線千葉以西の全列車を対象とする24時間ストライキとする。(但し、貨物列車を除く)
- 前項にかかわらず、次の事態が発生した場合、スト突入時間の繰り上げ・スト対象区拡大(千葉駅に乗り入れる全列車)をもって対応する。

- 構内・庁舎から組合員の強制排除 除官憲の介入。
- スト破り行為

- 従って、十一月二十八日以降、全支部・全組合員によるスト突入体制を確立する。
- 国鉄労働組合に対し、従前の通りB変仕業の拒否を申し入れる。

- 十一月二十八日、十七時三〇分より、津田沼電車区・千葉運転区においてスト前夜総決起集会を開催する。
- ストライキ前段の取り組み

- 全組合員が「業務命令」「保護願い」を絶対に受け取らず拒否する体制の確立
- 全支部圏域体制・常時連絡体制確立。
- 当局の動向把握、現場長交渉の追求。
- 国労共闘の強化。

△その他▽

- 「11・29スト総括集会」の開催
 - 千葉市民会館
 - 十二月九日(月) 十八時
- 第十三回定期委員会の開催
 - 十二月十六日(月) 十時
 - 教育会館